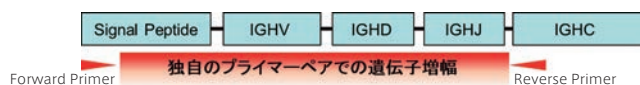


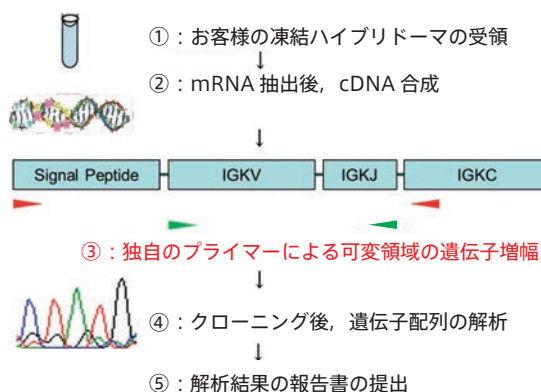


マウスハイブリドーマから 抗体可変領域の遺伝子解読 受託サービス

ご提供いただいたハイブリドーマから、産生している抗体の可変領域をコードする遺伝子の配列を決定して、アミノ酸配列に変換した結果をご報告するサービスです。



サービス工程



取得したアミノ酸配列情報は、組換え抗体の作製（ヒト化やサブクラス変更）などに利用できます。

納品物

解析配列の報告書（H鎖とL鎖の可変領域の遺伝子配列，アミノ酸配列，CDR配列）

※ハイブリドーマはご返却できません。また作製したcDNAやPCR増幅物などの試料もご提供できません（終了後、処分します）。

※遺伝子とアミノ酸配列の解析は、Web上の解析サイトを利用することにご承諾下さい（登録などは一切しません）。

ご注文方法／価格

詳細は、当社受託・特注品担当までお問い合わせ下さい。

[メーカー：PMX]

↓ココを選択！

Web ページ番号検索

SEARCH

各記事右上の Web ページ番号を入力

検索

各製品の詳細は、フナコシ Web のタブから
簡単に検索できます！



加熱処理不要の変性コラーゲン検出プローブ sCy7.5-CHP *in vivo* Kit

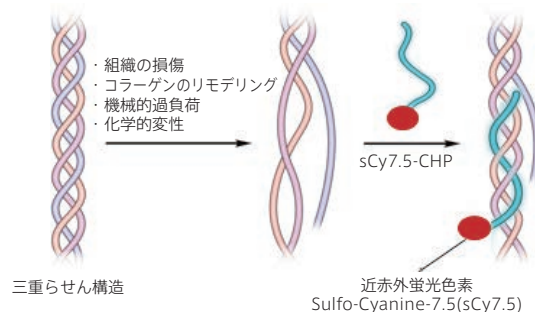
マウスなどの小型実験動物において、変性コラーゲンを *in vivo* でイメージングできるプローブです。

特長

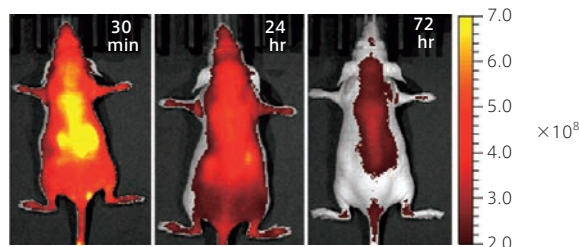
- 様々な疾患による炎症や組織の損傷、さらには発生や加齢に伴う組織のリモデリングを簡便に検出できます¹。
- 小型実験動物の全身または *in situ* での注入に使用可能です。
- ペプチド配列中への非天然型アミノ酸残基の導入により、セルフハイブリダイゼーションが生じないため、使用前の活性化が不要で、注入後に不活性化することはありません。
- 近赤外蛍光色素 Sulfo-Cyanine-7.5 (sCy7.5) で標識されているため、組織への蛍光浸透性が高く、その他の組織の自家蛍光を最小限に抑えることができます。

1. Hwang, J., et al., *ACS Nano*, **11** (10), 9825~9835 (2017). [PMID: 28877431]

Collagen Hybridizing Peptide (CHP) の検出原理



使用例



sCy7.5-CHP を尾静脈注射したマウスの *in vivo* 観察像

注射後 30 分, 24 時間, 72 時間時点の蛍光を観察した。

品名	メーカー	商品コード	包装 / 価格 (¥)
sCy7.5 <i>In Vivo</i> Kit	HHH	INVIVOKIT7.5	1 kit / 240,000
検出用プローブ Target-sCy7.5-CHP と、ネガティブコントロール Control-sCy7.5-CHP のセット。測定波長：励起 778 nm / 蛍光 797 nm			

※ご購入の際、使用者確約書のご提出が必要です。詳細は、当社受託・特注品担当までお問い合わせ下さい。